

ダイワDBモメンタム戦略ファンド (為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)

第12期決算と今後の見通しについて

2023年9月1日

平素は、「ダイワDBモメンタム戦略ファンド（為替ヘッジあり/為替ヘッジなし）」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、両ファンドとも2023年8月21日に第12期決算を迎えました。当期の運用状況と今後の見通しについてまとめましたので、報告申し上げます。

なお、当期の収益分配について基準価額の水準等を勘案した結果、為替ヘッジありについてはこれを見送り、為替ヘッジなしについては300円（1万口当たり、税引前）といたしました。

引き続きお引き立て賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

[ご参考]当ファンドの収益分配方針は以下の通りです。

①分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。

②原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。

ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

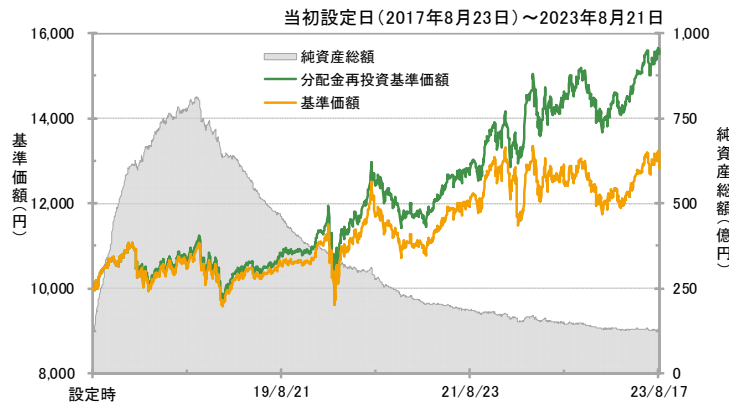
■ 基準価額・純資産の推移 (2023年8月21日現在)

■ 為替ヘッジあり

基準価額	9,317円
純資産総額	50億円

■ 為替ヘッジなし

基準価額	12,816円
純資産総額	124億円



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。
 ※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
 ※分配金は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社（大和アセットマネジメント）が決定しますので、将来の分配金について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金が変更されるあるいは分配金が支払われない場合もあります。

当期の投資環境：株式と金は上昇、債券は下落。為替は円安米ドル高に

米国株式 (Deutsche Bank Forward Equities Index)

当指数は上昇しました。米国の地方銀行の経営破綻などを受けて、3月半ばにかけて当指数は下落しました。その後は、FRB（米国連邦準備制度理事会）による緊急融資枠の新設で資金繰り懸念が後退したことや、予想を上回る企業決算の発表が好感され、上昇基調での推移となりました。8月に入ると、米国金利の上昇基調継続などが嫌気されて、当指数は上げ幅を縮小しました。

米国長期金利 (Deutsche Bank Duration Bias Total Return Index Level Local)

当指数は下落（金利は上昇）しました。米国地方銀行の経営破綻に端を発する信用不安が広がったことを背景に、3月半ばにかけて当指数は大きく上昇（金利は低下）しました。5月以降は、過度な信用不安の後退や政策金利見通しの引き上げなどから、金利は上昇基調での推移となり、当指数は下落しました。

金 (Deutsche Bank Gold Forward Index Level Unhedged)

当指数は上昇しました。信用不安の高まりに伴い安全資産の需要が高まり、当指数は3月にかけて上昇しました。その後は、株価の上昇や米ドル高を受けて当指数は軟調に推移しました。

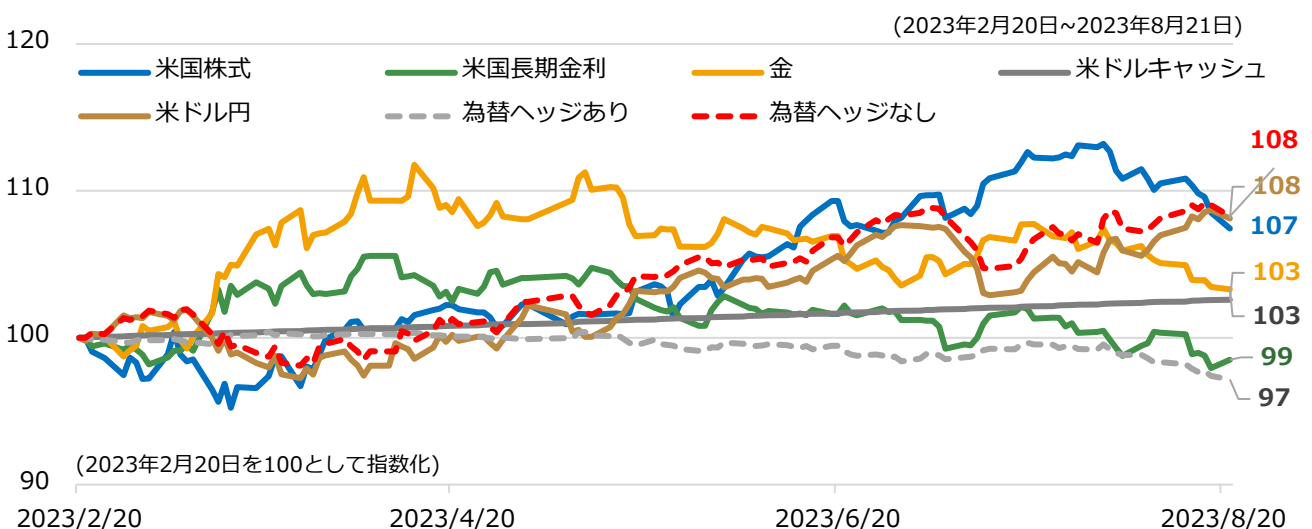
米ドルキャッシュ (Deutsche Bank Momentum Asset Allocator Cash Index Level USD)

当指数は上昇しました。米国の政策金利の目標レンジ上限が4.75%（年率）から5.50%（年率）に引き上げられ、当指数は上昇基調で推移しました。

米ドル/円為替市況

米ドルは対円で上昇しました。投資家のリスク回避姿勢を背景に一時下落したものの、米国金利の上昇を受けて、6月にかけて上昇基調での推移となりました。7月には、日本の政府要人等による円安けん制発言などを受けて円高が進行したものの、米国金利の上昇を受けて再び円安米ドル高となりました。

各資産のパフォーマンスと基準価額の推移



米国株式指数：Deutsche Bank Forward Equities Index

米国長期金利指数：Deutsche Bank Duration Bias Total Return Index Level Local

金指数：Deutsche Bank Gold Forward Index Level Unhedged

米ドルキャッシュ指数：Deutsche Bank Momentum Asset Allocator Cash Index Level USD

米ドル円：WMロイターロンドン時間午後4時

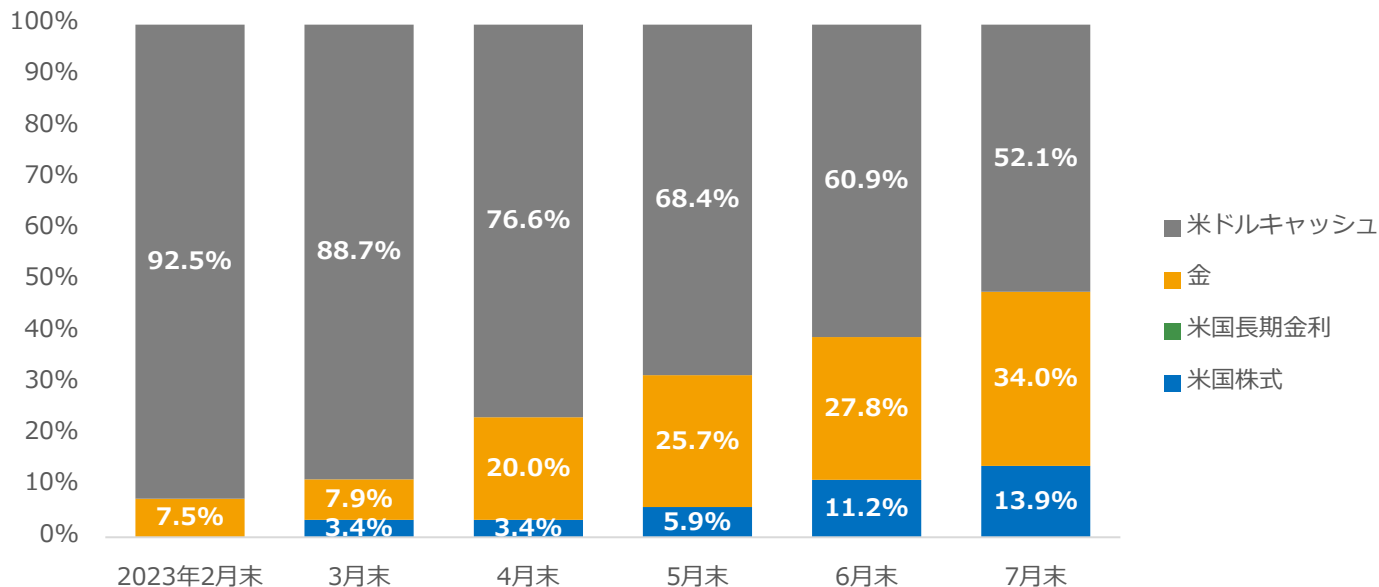
※4つの投資対象および米ドル円は前日の数値を使用。

※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

(出所) フルームバーグ

運用状況：金と株式の比率が上昇し、米ドルキャッシュの比率が低下

各月末のリバランス後の実質的な投資対象の比率



※実質的な投資対象の比率は、D Bモメンタム・アセット・アロケーター指数（Deutsche Bank Momentum Asset Allocator Index Level Local）の各月末のリバランス後のウェイトを示したものです。当ファンドの投資成果はおおむね上記指数の動きを反映します。

（出所）ドイツ銀行グループ

パフォーマンスの要因分解

<為替ヘッジあり>

米ドルキャッシュと米国株式の上昇がプラスに寄与したものの、為替のヘッジコストがマイナスに寄与しました。なお、当期は米国長期金利への配分はなかったため、寄与はありませんでした。

<為替ヘッジなし>

米ドルキャッシュと米国株式の上昇や、米ドルの対円での上昇（円安）がプラスに寄与しました。なお、当期は米国長期金利への配分はなかったため、寄与はありませんでした。

今後の運用方針

引き続き、D Bモメンタム・アセット・アロケーター指数の動きを反映した投資成果をめざして運用を行います。D Bモメンタム・アセット・アロケーター指数では、4つの実質的な投資対象の一定期間のパフォーマンスを測定し、あらかじめ定めるルールにもとづき、配分比率の変更を月次で行います。

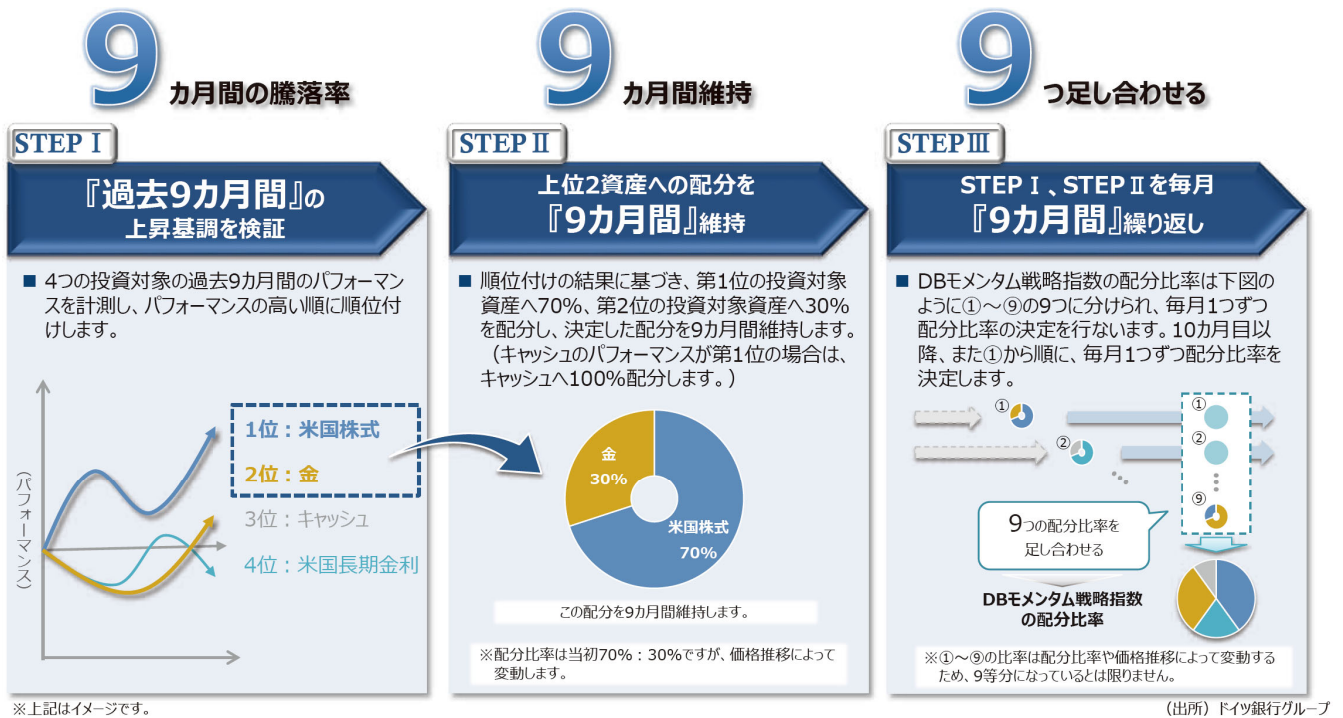
DBモメンタム・アセット・アロケーター指数

指数の概要

- 「上昇/下降トレンドを形成した資産は、今後も一定期間において上昇/下降トレンドを形成する傾向がある」というマーケットの特性（モメンタム）を活用した投資戦略です。
- 様々な投資環境において効力を発揮する値動きの特性が異なる代表的な4つの資産（米国株式、米国長期金利、金、米ドルキャッシュ）を投資対象とします。
- モメンタムを活用した完全なルールベースによる資産配分比率の変更を月次で実施します。（下記参照）

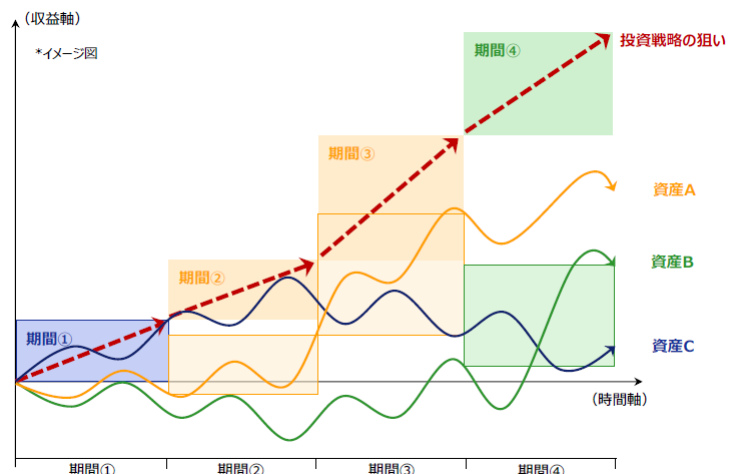
資産配分比率の決定方法

- 4つの投資対象から相対的に上昇基調にある資産への配分比率を増加させるという一貫したルールに基づいて決定されます。各資産の上昇モメンタムを捉える一貫したルールの中でも、3つの『9』がキーワードとなっています。



投資戦略の狙い

「値動きの特性が異なる資産の中で、相対的に大きな上昇トレンドにある資産を繰り返し捉えることで、単一資産に投資するよりも収益の向上、および下落リスクを軽減することが出来る」というモメンタムを活用した考え方を元に、**いかなる投資環境下においても、投資対象資産の中で相対的に強い上昇トレンドにある資産を選択しパフォーマンスの向上を目指します。**



※上記はイメージ図であり、実際の当ファンドの運用とは異なります。また、上記のいかなる内容も、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

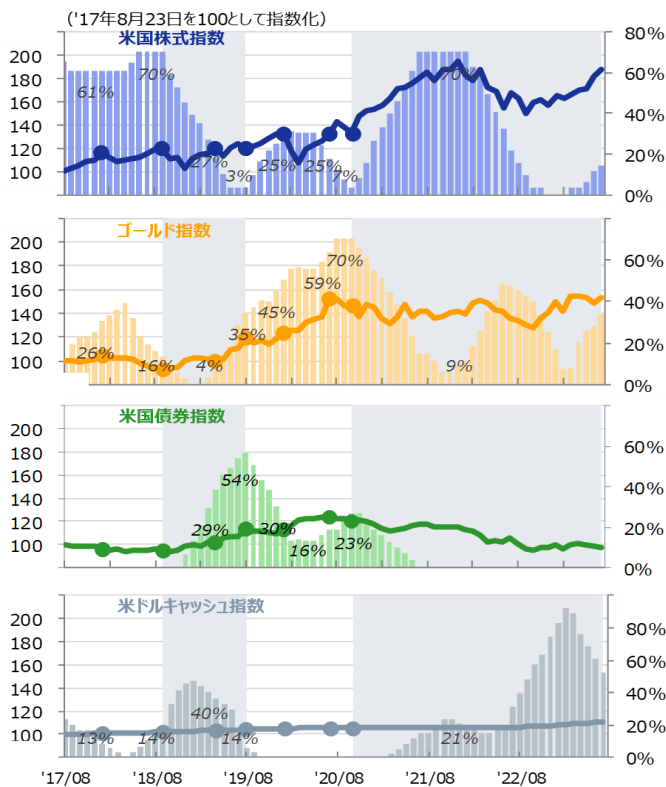
過去の配分比率の事例

図①は、2017年8月23日から2023年7月31日の期間の4資産（米国株式、米国長期金利、金、米ドルキャッシュ）のパフォーマンスとDBモメンタム・アセット・アロケーター指数における各資産の配分比率を示しています。

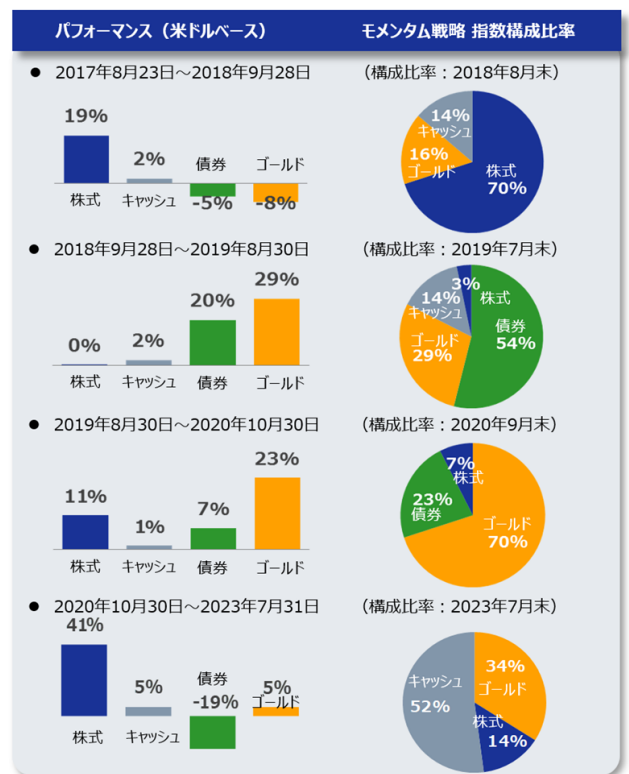
図②は、当該期間を4つの局面に分け、それぞれの局面の4資産のパフォーマンスと局面内の一時点の指数の構成比率を示したものです。

DBモメンタム・アセット・アロケーター指数は、基準となる資産配分比率を設けないため、市場動向に応じた大胆な資産配分変更が実施されます。図①・②からも分かる通り、それぞれの局面において上昇トレンドをルールで補足し、相対的に上昇している資産の比率を高めてきました。

(図①) 4資産（株式、債券、金、キャッシュ）のパフォーマンスとDBモメンタム・アセット・アロケーター指数における各資産の配分比率



(図②) 4つの局面の各資産のパフォーマンスと局面内の一時点の指数の構成比率



対象期間：2017年8月23日～2023年7月31日

上記のチャートは、DBモメンタム戦略指数が投資対象としているインデックスを使用し、2017年8月23日を100として指数化し、モメンタム戦略の資産配分比率と共に掲載しています。

弊社は上記情報、仮定、予測、計算方法、及び結論の完全さ、また正確さについて何ら保証するものではありません。過去の実績は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。

■ ファンドの目的・特色

ファンドの目的

米国の株式、米国の長期金利、米ドルキャッシュおよび金への配分を変更しながら、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。

ファンドの特色

1. 米国の株式、米国の長期金利、米ドルキャッシュおよび金を実質的な投資対象とします。
2. ドイツ銀行が開発したDB モメンタム・アセット・アロケーター指数の動きを反映した投資成果をめざします。
3. 「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」の2つのファンドがあります。

為替ヘッジあり

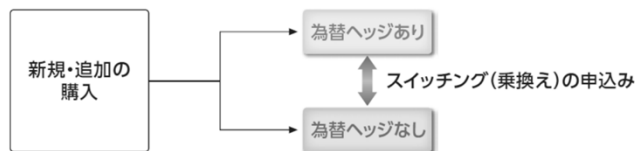
- 為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。
※ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。
※為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

為替ヘッジなし

- 為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行いません。
※基準価額は、為替変動の影響を直接受けます。

スイッチング(乗換え)について

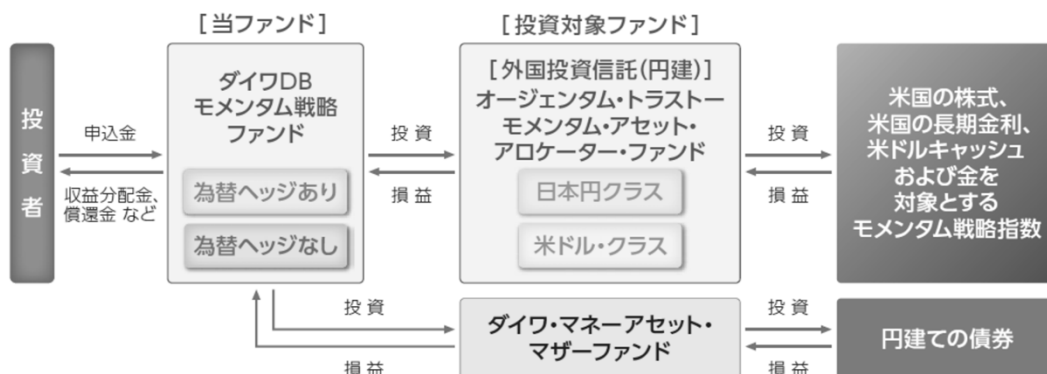
- ◆「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」との間でスイッチング(乗換え)を行なうことができます。



販売会社によっては「為替ヘッジあり」または「為替ヘッジなし」のどちらか一方のみのお取扱いとなる場合があります。また、販売会社によっては、スイッチング(乗換え)のお取扱いがない場合があります。くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。

- ◆各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。
ダイワDBモメンタム戦略ファンド(為替ヘッジあり)：為替ヘッジあり
ダイワDBモメンタム戦略ファンド(為替ヘッジなし)：為替ヘッジなし
- ◆各ファンドの総称を「ダイワDBモメンタム戦略ファンド」とします。

4. 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。
外国投資信託の受益証券を通じて、米国の株式、米国の長期金利、米ドルキャッシュおよび金に実質的に投資します。
当ファンドが投資対象とする外国投資信託では、担保付スワップ取引を通じて損益を享受します。



※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「金の取引価格の変動」、「金利に関する取引価格の変動」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「デリバティブの価格変動」、「スワップ取引の利用に伴うリスク」、「当ファンドが実質的に活用する戦略に関するリスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※「為替ヘッジあり」は、為替ヘッジを行ないませんが、影響をすべて排除できるわけではありません。また、為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

※「為替ヘッジなし」は、為替ヘッジを行なわないので、基準価額は、為替レートの変動の影響を直接受けます。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉3.3%(税抜3.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率1.1825% (税抜1.075%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資対象とする 投資信託証券	年率0.775%程度	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用	年率1.9575%(税込)程度	(純資産総額によっては上回る場合があります。)
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

大和証券

Daiwa Securities

〈販売会社〉

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会
一般社団法人日本STO協会

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

〈委託会社〉

商号等 大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。